

放課後等デイサービス キッズボンド垂井 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	5	0	活動によっては、狭く感じる事もあるが安全に活動できるよう時間や状況に合わせて配慮している。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	4	0	有資格者の人員配置を満たすようにしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	3	玄関には段差があるが、訓練室・学習室・トイレまではバリアフリーになっており、車椅子でも利用できる。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	3	0	職員会議や毎日のミーティングでは職員間で話し合いを行い、PDCAサイクルが回し続けられるよう努力している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2	0	評価表の配布の他、保護者とラインや電話、連絡帳で密に連絡を取り、ニーズに応えられるようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	1	ホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	8	外部評価は現在行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	2	0	オンライン研修、実地研修など定期的に専門職による研修を受け、全職員で共有している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0	ASIST（学校適応プログラム）による客観的な評価のもと、スーパーバイズを受けて支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	0	キッズボンドグループで標準のテンプレートがあり、それを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	0	原案を担当者が決め、職員で話し合いをして指導計画へと進めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1	0	他の事業所の計画を参考にしたり、利用児の興味に合った内容になるよう様々な活動を計画したりしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2	0	平日と学校休業日では支援内容を変えている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0	支援計画に基づき、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1	0	受け入れ前ミーティングを毎日実施し、利用児の状況や支援内容について共有、確認をしている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	0	支援で有効だった手段や改善点、問題点を報告し、ケースによっては職員会議に挙げて話し合っている。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1	0	支援計画に沿った内容を中心に個人記録をとることでアセスメントに繋げている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	0	原則、半年に一度モニタリングを行っている。必要であれば、前倒して実施する。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	2	0	日常生活における自立支援、制作、食育、お出かけ、地域交流などを組み合わせた支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	3	0	サービス担当者会議をさせていただいている事業所もあるが、必要に応じて行政に働きかけていきたい。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1	0	保護者とは連絡帳やライン、電話を通じて、学校とは必要に応じ連絡を取り、適切に行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	4	当事業所では、医療ケアを必要とする児童は現在のところいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	4	0	連絡を取り合っていないが、移行時に引き継がれる「すくすく（垂井町）」「スマイルブック（大垣市）」など、支援記録の情報を共有している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	2	5	学校を卒業し障害福祉サービス事業所へ移行する児童は、現在のところいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	4	専門機関との連携はできていないため、今後行っていきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	6	現在のところ、健常児との交流はできていないので今後取り組みたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	5	今年度は協議会の案内がなかった。次年度は参加したい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1	0	保護者との面談や日々の連絡、送迎時の対話を通じて成長の喜びを共感していけるよう心掛けている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	4	随時、親子のより良い関係への相談に応じているが、ペアレントトレーニング等の実施はしていない。
保護者への説	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1	0	契約時に懇切丁寧に説明している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	0	事業所で相談に応じる他、必要と思われる時は家庭を訪問し、傾聴したり助言したりしている。相談支援事業所とも連携している。

明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	7	保護者会開催が実現できるよう、年間計画を作成していきたい。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	苦情や要望があった場合には、担当職員が管理者に報告し保護者と面談するなど速やか且つ適切な対応をとっている。
非常時等の対応	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1	0	「Facebook」で毎日の活動の様子を伝えたり、「通信」「活動予定表」保護者に配布したりしている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7	1	0	書類は鍵付書庫で保管し、HP上の写真には保護者の同意を得た上でモザイクをかけている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1	0	曖昧な表現は使わず、場合によっては可視化をして意思の疎通を図っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	5	地域住民が参加できるイベントは実施していない。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2	0	研修、職員会議（場面を想定した役割分担など）を行い、記録を全職員で周知している。
非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	2	0	毎月、災害を想定した避難訓練を実施している。消防署より救命講習を受けたり指定避難場所への移動訓練を取り入れた
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2	0	研修を定期的に受けており、職員会議などで支援の振り返りをしている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	4	0	身体拘束について保護者に説明し、契約時には同意書を得たり運営規定に記載しているが、組織の決定による支援計画への記載はしていない。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	7	1	0	医師の指示書に基づき、保護者より詳しい説明を受け対応をマニュアル化している。エピペンを預かっている児童もいる。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1	0	事業所内だけでなく、キッズボンドグループ全体や近い事業所とも事例を共有している。